

冬季間の電気柵の 管理について



購入した電気柵に付属している**取扱説明書**を熟読し、適切な維持管理に努めましょう！



電気柵を長持ちさせるために

□電気柵は積雪前に撤去しましょう

原則として、電気柵は積雪前に撤去しましょう。積雪によりポールの折れ、柵線(通電ワイヤー)の切断など資材が破損する可能性があります。

□乾電池は本体から外して保管

乾電池式の電気柵は、乾電池を長期間本体に収めておくと液漏れが発生する場合があります。

□充電バッテリー式は充電してから外して保管

バッテリーを満充電にしたあと本体から外して保管しましょう。ソーラーパネル式も同様です。バッテリーを接続したまま保管すると再充電が出来ない状態となる可能性があります。

□ソーラーパネル式は太陽光で充電してから保管

専用の充電器が無いものは、本体の電源を切り太陽光で十分に充電してからバッテリーを外して保管して下さい。

※上記の注意事項は一般的な保管方法です。必ず付属の取扱説明書を熟読し、内容に従って適切な管理をお願いします。

野生動物に関するお問合せ

喜多方市

喜多方市役所市民生活課 有害鳥獣対策室 0241-24-5261 熱塩加納総合支所住民課 0241-36-2113

塩川総合支所住民課 0241-27-2400 山都総合支所住民課 0241-38-3821 高郷総合支所住民課 0241-44-2113



雪が積もると、こんなことが起こります



①雪が積もる



②雪の重みで支柱・柵線に負担がかかる



③気温が上がると雪が溶け、夜に凍る



④雪が締まって硬く・重くなる



⑤さらに雪が積もり、支柱に横方向の力が加わる



⑥支柱が傾く・曲がる・折れる

さらに、柵線に雪や氷が付着すると、柵線そのものが重くなり、支柱にかかる負担も大きくなります。



「雪が少ないから大丈夫」とは限りません



降雪量が少なくても、

融雪 → 再凍結 → 再積雪

を繰り返すことで、雪が固く締まり、支柱や柵線に大きな負担がかかることがあります。

また、春先には雪解けによって地盤が緩み、支柱が傾きやすくなる場合もあります。